

はじめに

前回は皆さんが選んだ「夏の歌」（雑歌一首を含む）について、深く理解するための課題に取り組んでもらいました。

それを踏まえて、本時前半はトークルームでの分かち合いをしたいと思います。一回目の時抵抗感を覚えた人もいましたが、文学作品は解釈や感想を話し合うことで、より深く理解できるようになります。文学作品では絶対的に正解の解釈というのはないので、間違った意見を言ったら恥ずかしいなど思わずに参加してください。他の人の言葉に刺激を受けたり、導かれたりして言葉の世界が広がっていく体験を共有したいと思います。

ひとしきり分かち合いをした後、『百人一首』の中休みとして、基本的な知識の学習をしてください。資料をいくつか配信するので、それを読みながら新しい知識を獲得してくださいね。

課題一 皆さんに選ばれた次の和歌について、

- 1 特に印象深い和歌について、解釈を確認したり、感想をまとめたりしなさい。（自分が選んだ和歌に限定しません。） 10分
- 2 1 についてトークルームで自分の感想などを述べ合う。 最長15分
誰かが質問をしたり話題を振ったりしたときは、グループの中で自由にやりとりをしてください。

2 春過ぎて夏来にけらし白妙の衣ほすてふ天の香具山

36 夏の夜はまだ宵ながらあけぬるを雲のいづこに月やどるらむ

98 風そよぐならの小川の夕暮れはみそぎの夏のしるしなりける

96 花さそふ嵐の庭の雪ならでふりゆくものは我が身なりけり

課題二 添付資料や「国語総合ガイド」を読み、『百人一首』についての知識を獲得し、新たに得た知識を少なくとも五つ以上書き出しなさい

*以上の作業が終わったら、アンケートに回答し、答えの画像を添付してください。